

日産財団ニュースレター (第29号)

2016年2月発行



ひとを育て、未来に夢を...

はじめに

日産財団では、2015年度理科教育助成(助成期間2016.1.1~2017.12.31)の対象校・団体の1年目の活動状況を把握するための助成校・団体への訪問を実施致しましたので、ご紹介します。2015年度理科教育助成の対象校・団体の実践内容の紹介は、本号で終了となります。

◆ 2015年度助成校・団体の活動紹介(2016年11月~2017年2月に訪問した6件)

神奈川県 横浜市立白幡小学校



6年生「目指せ！自己ベスト！ガイドブックを作ろう」の単元における公開授業の様子。『呼吸』をテーマに、人体が呼吸することで空気中に何が起きているかを考察。呼吸をビニル袋に入れて、気体検知機で酸素と二酸化炭素の含有率を測定し、吸気と呼気における含有率の違いから、それぞれの考察を発表している。

福島県 いわき理科教育研究会



教育実践研究発表大会(いわき市文化センター)での、いわき理科教育研究会の教師力upセミナーの展示と説明・実演の様子。市内の先生に授業で使える教材(手回し発電機によるLEDなど各種電灯の点灯の違いが分かるもの、ものの温まり方に使う熱気球ほか)を説明し貸出も行っている。右は説明員(会員)の写真。

福岡県 遠賀町立島門小学校



6年生「電気の性質とはたらき」の単元における公開授業の様子。写真左は、太さの異なる電熱線のカーターで発泡スチロールを切断している。中央は、電熱線の太さと電流・電熱の大きさの関連を調べるために電熱線に蜜蝋を設置し、切断速度を測定している。右は、投影機でノートを大型モニターに映しながら発表の様子。

神奈川県 伊勢原市立竹園小学校



5年生の理科「もののとけ方」の校内授業。水を温めると、とけ残ったものをとくことができるかを実験。常温(15℃)から30℃、60℃と水温を上げていき、食塩とヨウバンのとけた量を計測。結果をワークシートの棒グラフにまとめ、水温を上げた場合、ものによってとける量が異なることを、クラスの皆で考察した。

神奈川県 横浜市立鳥が丘小学校



4年生の総合的な学習の時間の「わくわくピオトープ~校内ピオトープから自然との出合わせ方を工夫する~」の公開授業の様子。ミニ公園を再整備してピオトープ化するにあたり、生き物をいっぱい場所にするために、児童は自分でどのようにしたいかを付箋に記入、それを持ち寄って班で討議し、代表者が発表した。

福島県 いわき市立藤間中学校



1年生の理科「地層から読みとる大地の変化」の単元の3/8時、めあて「化石からどのようなことが分かるのだろうか」の授業。ワークシートに従って、化石とは、化石のできる場所の問いに個人で記入した後グループで討議発表。最後の化石から分かることの問いをグループで討議し、iPadを使って記入し、広場にアップロードして全グループでシェアし、現在も生息する種の化石は、当時の環境を推測できる示相化石であることを確認。